

梨産地の活性化を目指して

～木更津市果樹産地協議会設立への取組～

君津農業事務所改良普及課 令和3年6月25日発

木更津市では、富来田梨栽培者組合、中郷梨組合及び矢那梨組合の35戸が梨を生産しており、直売中心の販売を行っています。近年、老木化による収量減少が問題となっていますが、収益が得られない期間が生じることへの不安から改植が進んでいません。

このような状況の中、生産者から改植を進めるための補助事業の導入を望む声が挙げられたことから、当事務所では6月7日に説明会を開催し、「生産者、市・農協などの関係機関で今後の産地のあり方を検討する産地協議会を設立し、産地計画を策定して、補助事業を活用した改植を進めてはどうか」と提案したところ、了解が得られ、設立総会を行うことになりました。産地協議会設立後、産地計画を策定し、国の果樹経営支援対策事業を活用して改植に取り組んでいく予定です。当事務所では、産地協議会の一員として、産地の発展に向けて取り組んでいきます。



6月7日開催全体説明会の様子



樹齢30年を超えた梨の老木園